
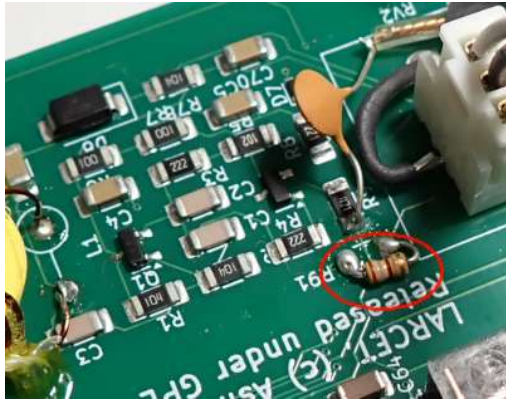


LARCSet VFO 部分 L1 の組立が悩ましいところなので、やり方を示します。

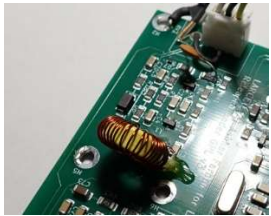

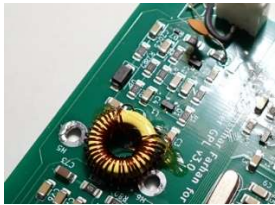

RV2 配線

回路図	
マニュアル 表記	<p>1:BLK, 2:YEL, 3:WHITE</p>
RV2 ピン番号	<p>回路図とマニュアル写真が違ってきます。回路図が正しいとしますと写真を下図のように配線します。</p>
動作	<p>VFO 出力(R9)は、RV2 を CCW（反時計回り）にすると、高い周波数になります。CW（時計回り）にすると、低い周波数になります。</p>

R91

発振停止	RV2 を CCW（反時計回り）にしますと、発振停止になりました。
R91 調整	<div data-bbox="427 383 935 790"></div> <div data-bbox="949 757 1150 797">R91 : 0Ω 搭載</div> <p data-bbox="427 815 1359 902">カットアンドトライにて R91 を可変したところ、R91=135Ω 以上にすれば発振するようです。</p> <p data-bbox="427 909 959 949">手持ちの関係で、R91=180Ω にしました。</p> <div data-bbox="427 963 935 1361"></div> <div data-bbox="949 1328 1096 1368">R91:180Ω</div>

L1 配置 周波数変動

L1 縦		 4008.712kHz
L1 横接着		 3978.158kHz
差分：接着により 4008.712-3978.158=30.554kHz 発振周波数が下がります		

VCO 出力ドリフト



この結果から、電源投入時から 5kHz 程度下がると判明しました。

VFO L1 巻き数調整

L1 縦、横の違いによる周波数変動	-30.544kHz
VFO ドリフト	-5kHz
合計	-35kHz

以上から、組み立て L1 縦設置時には目標周波数から 35kHz 高めで調整すればよさそうです。